



# きやりこみゆ<sup>2</sup>

Career + Community + Communication

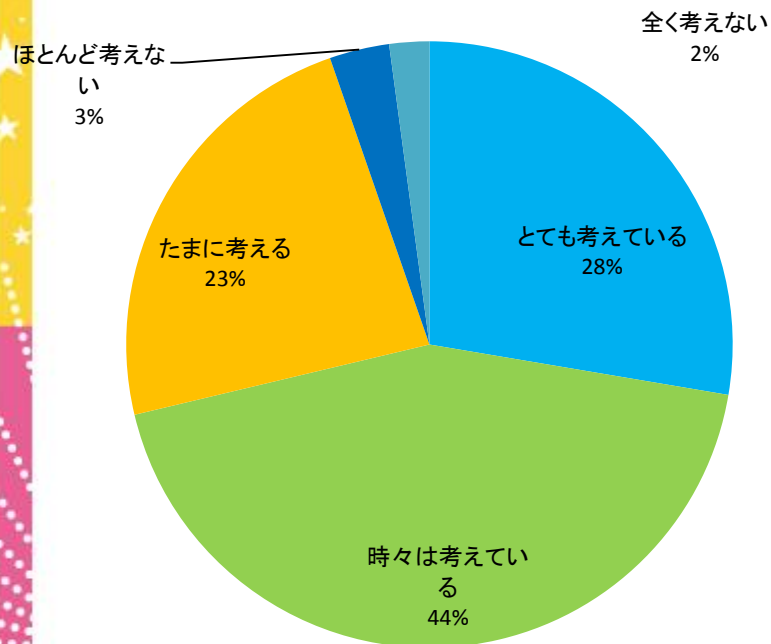


地域の若者を地域で育てる

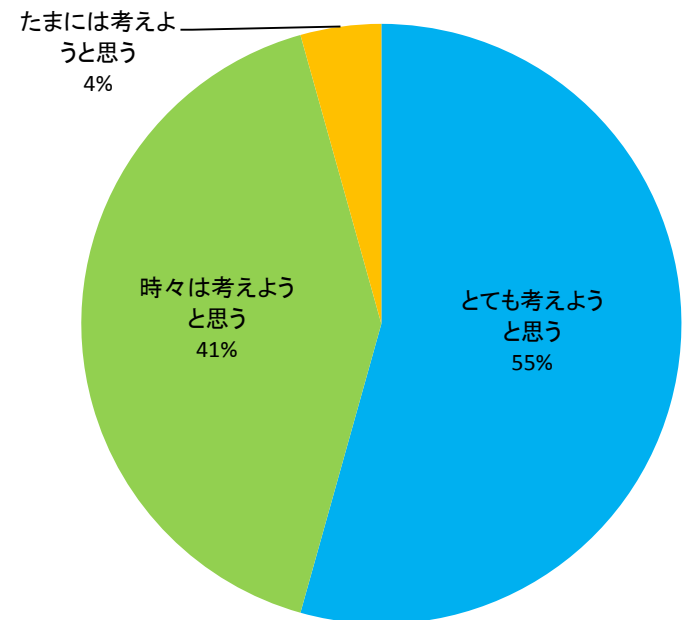
## ■ワークショップ実施後のアンケート結果(n=92名)

「将来について考える機会があるか？」については、  
ワークショップ実施後に将来について考えてみようという  
生徒が96%という結果に。

### ワークショップ実施前



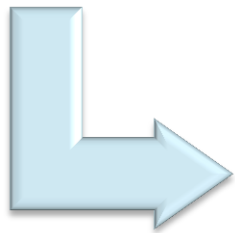
### ワークショップ実施後



ワークショップの実施回数・参加高校生数・  
ボランティア参加者数ともに増加

2013年

- 実施回数: 7回
- 参加高校生: 134名
- ボランティアのべ参加数: 17名



2014年

- 実施回数: 10回
- 参加高校生: 180名
- ボランティアのべ参加数: 61名

## 【2013年1月実施アンケートの事実】

一方、私たちが2年前に中央高校で実施したアンケートでは95%の生徒がインターンシップに興味があると回答しているにもかかわらず、そこには踏み込めていない事実があります。

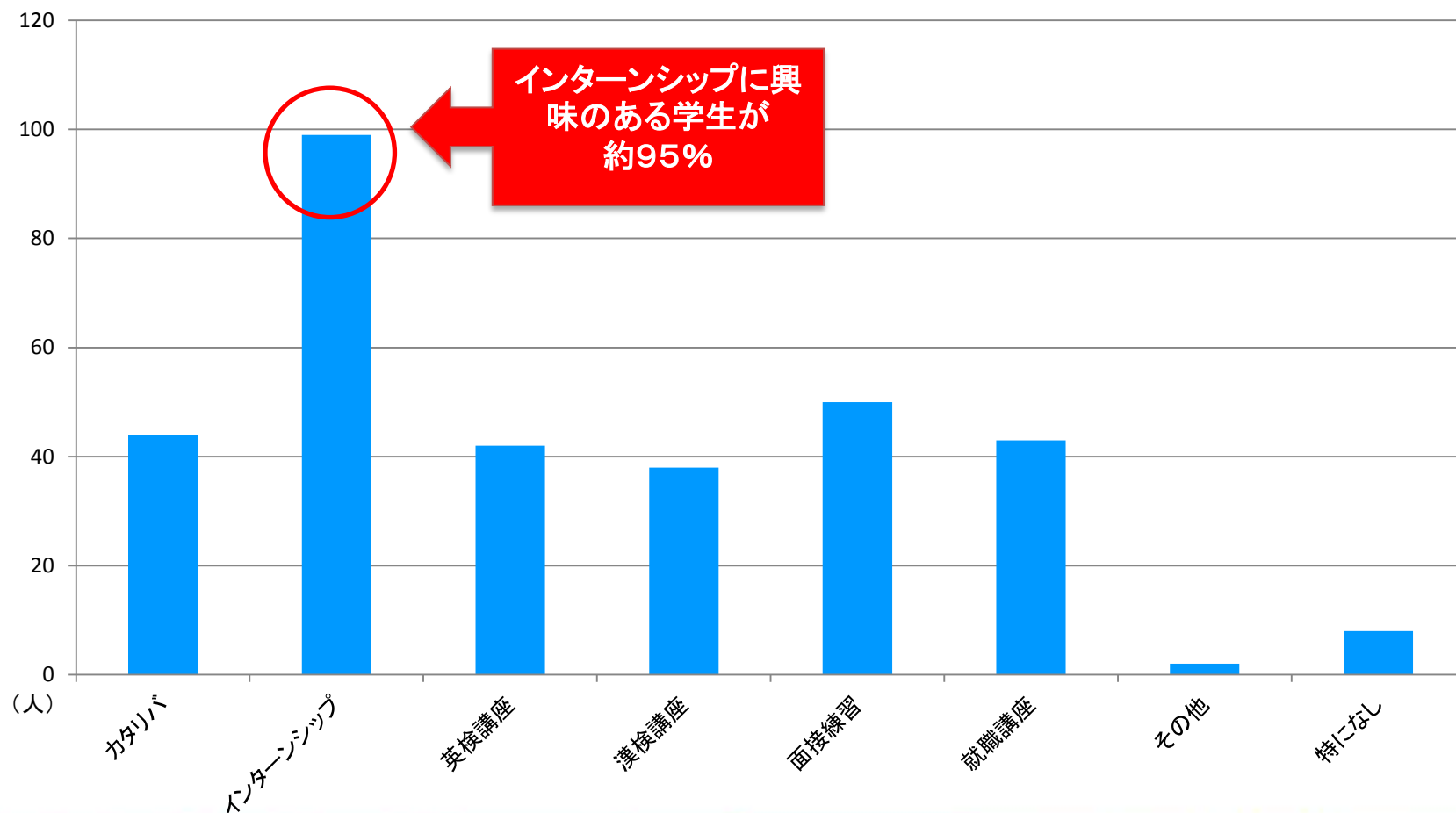
### シール投票式アンケート

- ◆実施日:2013年1月16日(水)
- ◆実施場所:エントランスホール
- ◆実施方法:シールでの投票
- ◆回答数:合計:105名  
卒年次:44名  
卒年次以外:61名



高校生もインターシップに興味があり！  
インターンシップ(職業体験)を希望している学生が  
アンケート実施学生の95%以上

興味のある事を教えてください！(複数回答可) 参加生徒数:105名



# 目標達成に向けた3つの具体的実施計画

インターンシップ(バイターン)の実施

新たな支援に向けた連携モデルの構築

ワークショップモデルの他校への水平展開

■新たな支援に向けた連携モデルの構築: 農業体験合宿(夏休み)の実施



きやりこみゆ<sup>2</sup>  
Career + Community + Communication



NPO法人  
せんがまち棚田倶楽部

高校生



農業指導

夏休み  
農業体験募集

空き屋受入



# ◆今後3ヶ年の活動計画◆

## 新たな支援の仕組み

## 他校への水平展開

2015

- ① インターンシップ  
(バイターン)  
トライアル実施
- ② 夏休み農業体験合宿

- ① 希望校への  
ヒアリング調査・  
生徒アンケート
- ② 教育委員会(県・市)との連携  
強化・後援とりつけ

2016

- ① バイターン
- ② 農業体験合宿のブラッシュ  
アップ

他校での  
ワークショップ実施

2017

- ①② 結果を踏まえ  
静岡市ジュニア  
インターンシップ  
受託

他校での  
ワークショップ実施  
ブラッシュアップ



# 課題＝組織力強化



主催(1月13日(火)14日(水)開催)  
※内閣府委託事業

NPO人材育成マネジメント研修参加

来年度ボランティアスタッフ60名確保

子ども・若者地域ファンド創設に向けた連携模索